

# 豊島区ゼロカーボン 計画

---



## ゼロカーボンに向けての提案

---

- ① 3R工房を作る
- ② ふれあい広場と  
インフォメーションセンターを作る
- ③ 豊島区エコツアーを開催



# ターゲット

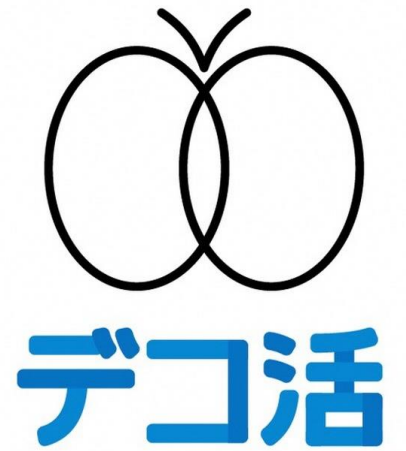
---

未就学児から小学校低学年くらいまでの子供を持つ親子連れ



# コンセプト

---



豊島区を丸ごとレジジャーランド化！

デコ活を取り入れながらいつもの街中をもっと楽しく

# 目的

---

- ・豊島区のSDGs都市としてのイメージを周知させる
- ・楽しく遊びながら次世代を担う人々のエコについての意識を高めてもらう



# 3 R 工房

---

REUSE:

廃材を使って作品を作る！

REDUCE:

フリマコーナーを作り いらなくなったものの交換を！

RECYCLE:

いらなくなったものから作ったパーツをカスタムして  
自分だけのグッズを作ろう！

# ふれあい広場

---

- ・食べきり協力店
- ・野菜のごみの提供に協力してくれる店  
→ふれあい広場の動物のえさを調達

# ツアーの開催

---

豊島区の名所、ゼロカーボンを実現しているところを  
イケバスや徒歩で巡る

1時間程度 10~15人 一人当たりの参加費500円







# 観光の流れ

インフォメーションセンターで受付をする(ツアー参加も可)

案内のパンフレット(食べきり協力店の案内を含む)

オリジナルロゴが入った帽子をもらう



・食べきり協力店で食事をする

・3R工房でオリジナルの作品をつくる

・ふれあい広場で動物にエサやり体験

(エサはインフォメーションセンターで野菜の皮などをもらう)



インフォメーションセンターでお土産のパンフレットをもらう

# 探索の道しるべ



# プロモーション

---

ツアーに参加している子供にオリジナルロゴが入った帽子を着用してもらう

→参加者自身が広告塔になる

駅にポスターを貼る

→素材を工夫

葉っぱの形にしたり古紙のような素材感にしたりなど

# メリット

---

次世代の意識改革

デコ活を広める機会の増大が見込める

豊島区内の施設や飲食店のエコへの意識が高まる

既存の制度や方針との融合

11 住み続けられる  
まちづくりを



# 浮かんでくる課題

---

導入費用が多くかかる

長期的に人が来てくれるのか

十分な運営スタッフを集められるか

定期的な刷新の機会があるのか

# 期間限定イベント開催

---

「U n i - D e c 0」

You Need DECO

Uni(結びついて、一緒に)達成するデコ活

DECOの0とゼロカーボンの0が掛かっている

# イベント詳細

---

いきなり常設の設備を作るのは、資金などの問題により  
ハードルが高い

→期間限定イベントを開催し、売上げや人気を鑑みて企画  
を実行する

# イベント詳細

---

- ・期間: 2週間
- ・飲食店: 5日交代、3店ずつ  
@イケ・サンパーク KOTO-PORT
- ・ふれあい広場: エサやりはチケット制  
エサは1ヶ所に集計し、チケットを販売  
渡す野菜の基準はマニュアルを作成
- ・3R工房とインフォメーションセンター: 別の公園にブースを設置



# 収支計算 ～収入～

---

- ・ツアーの参加料  $500\text{円} \times 10\text{人/回} \times 3\text{回開催} = 15000\text{円}$
  - ・えさやり・ふれあい体験費  $200\text{円} \times 70\text{人} = 14000\text{円}$
  - ・ものづくり工房 参加費:  $500\text{円} \times 30\text{人} = 15000\text{円}$
  - ・ストラップ費 1個:  $200\text{円} \times 10\text{人} = 20000\text{円}$
- 合計収入:  $64000\text{円/日} \times 2\text{週間} = 896,000\text{円}$

# 収支計算 ～支出～

---

- ・帽子の製造費  $1500\text{円}/\text{個} \times 40\text{個} = 60000\text{円}$
- ・クレイハウス設置費  $15\text{万}/\text{個} \times 2\text{個} = 300000\text{円}$
- ・ガイドへの給料  $1100\text{円}/\text{h} \times 3\text{h} \times 14\text{日} = 46200\text{円}$
- ・ヤギレンタル費  $20000\text{円} \times 3\text{頭} = 60000\text{円}$
- ・ウサギレンタル費  $10000\text{円} \times 2\text{羽} = 20000\text{円}$

→合計支出: **486,200円**

# 設置する建物

---

インフォメーションセンター、3R工房ともに  
クレイハウスを使用



# クレイハウスのメリット

---

- 資材コスト削減  
地元の資源を使用することで地域経済の活性化も期待できる
- 二酸化炭素の排出削減  
→環境への負担削減
- 建設期間の短縮
- 廃棄物の削減

ご清聴ありがとうございました！